

# 支 所 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

支所名	樋脇支所	支所長名	鶴園信雄
-----	------	------	------

支所の 経営資源	支所関連の 主な予算				
	構成人員		職員	嘱託	計
		計	32人	16人	48人

支所の使命 (組織の存在価値)	<p>総合支所としての機能を発揮し、市民へ満足度の高いサービスを行うことである。</p> <p>(1)市民が安心・安全に暮らせる社会環境を創出する。</p> <p>(2)コミュニティ協議会の組織強化・自主運営を確立する。</p> <p>(3)産業振興のため各種事業の情報提供・支援に努め、経営の安定・市民所得の向上を目指す。</p>	組織目標像	<p>【施策の目標像】</p> <p>支所全課が連携を密にして、市の施策の情報提供と推進を積極的に行う体制の確立を目指す。</p> <p>【組織の目標像】</p> <p>支所経営の経費節減と行財政の健全運営に資するため、市比野出張所の在り方を検討し、スリム化を目指す。</p> <p>(1)市民サービスの低下を招くことの無いように地区コミュニティを範囲としたサービスの在り方を検討する。</p> <p>(2)住民ニーズに的確・迅速・丁寧な対応と身近な相談窓口として頼れる支所を構築する。</p>
--------------------	--	-------	---

## 平成20年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標(めざそう値)	具体的な取組内容	進捗状況(年度中間)	年度末の達成状況
目標と方針の支所内の共有化	使命遂行に向けた職員の意識改革 「市長五訓」認識の徹底	支所内・課内ミーティングの実施 内部情報システムの活用	<p>課内ミーティング(月1回定例)を課内全職員で開催し、情報の共有化及び経営改善に対する意識啓発を図った。</p> <p>課内会議(月曜日)をG長以上で開催し、業務の円滑化及びG間の協力体制を図った。</p> <p>課共有フォルダを有効活用して、業務の円滑化が図れている。</p> <p>市民への対応がしやすいように、机の向きを、カウンターに向けて配置した。(市民福祉)</p>	支所内会議及び課内ミーティング実施し、情報の共有化と各課の連携を図り、職員の意識改革を行った。

# 支 所 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

<p>接遇の励行</p>	<p>常に明るく笑顔で、懇切丁寧に 苦情のない支所 職員の安全・健康の保持</p>	<p>すぐに対応する、よく話を聞く、 進んで挨拶を交わす 早期治療 業務の平準化と定時退 庁の実践</p>	<p>市民と接する身近な窓口である ことを意識し、好感のもてる対応を 実践している。 税務の窓口カウンターの改善及 び閲覧席の設置により、スムーズな 業務遂行（証明発行・閲覧等）が図 られた。 事務分担に基づき、年間・月間ス ケジュールを作成し、職員間の協力 により、業務の標準化が図られた。</p>	<p>市民が窓口に来られた目的や何 を求めているのか的確に把握すると ともに、迅速で懇切な対応を図っ た。</p>
<p>職員のマナー、モラ ル、士気の向上、規 範の遵守</p>	<p>互いに指摘しあえる職場環境 「戒石銘」の理解・自覚</p>	<p>身だしなみを常に意識する 地域行事に積極的に参加する 職場から法令違反者を出さない</p>	<p>職員の服装、モラルについては、 随時周知し規範の遵守に努めてい る。</p>	<p>職員のマナー、モラルについて は、規範の遵守に努め、支所職員 が、年2回の環境美化活動に取り 組み、職員自ら意識の高揚と市民 等への啓発を行った。</p>
<p>高齢世帯の支援</p>	<p>地域相互扶助体制活動の強化</p>	<p>声掛け 粗大ゴミなど処理運搬の 地区コミの協力体制の推進</p>	<p>社会福祉協議会と連携し、地域の 見守り等協力体制の醸成に努めた。</p>	<p>民生・児童委員や福祉アドバイ ザー等関係機関と連携を取り支援 を行った。</p>
<p>農業農村の振興</p>	<p>認定農業者の育成  新規作物の導入・育成  イチゴの病害対策</p>	<p>経営規模拡大の推進 品目横断的経営安定対策加入の 推進 農業経営改善状況の進行管理 支 援活動  前年に引き続きエグ芋・サラダ玉 の定着 ハウス栽培による軟弱野菜の導 入及び育成 炭素病予防による健全苗の供給</p>	<p>農地流動化により推進 倉野地区において品目横断的経 営安定対策に加入 担い手育成支援事業による巡回 指導の実施  さといもについては50aの試験圃 を設けて栽培 軟弱野菜補助金交付決定に基づ き施設設置工事着工 いちご親株の配布を計画</p>	<p>農地流動化により茶園の面積拡大 が図られた。 今後は他地区にも推進を図りた い。 巡回指導により認定農家の意向調 査の把握ができた。  (農)倉野でエグ芋50aが作付け され、今後も作付を行い他地域へ の普及を図る。 約50aのハウスが完成し、21 年度より作付を行う。 いちごの健全苗の供給を行った。</p>

# 支 所 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

	農地・水・保全対策	4地区86haの農道・水路の維持管理に努め、更に作業内容等を充実し、農地保全を行う	新規1地区が増え計5地区95haの農道、水路の維持補修に努めた。	5地区95haの実施が計られ21年度において新たに1地区の増が見込まれる。
畜産基盤の整備	多頭畜産経営農家の安定と育成	各種補助事業の活用で飼料畑・畜舎の改善で増頭の推進	本年度1名の事業参加決定、23年度1名の参加予定	3月末をもって50頭規模牛舎及び0.38haの造成終了。 21年度に測量試験を実施し、22年度着工の見込
商工観光の振興	市比野温泉杯サッカー大会 よさこい祭り・ホッケー大会	大会実行委員会・観光協会・市比野イベント委員会の支援	市比野温泉杯サッカー大会のうち中学生、少年、少女大会は、支所職員の支援のもと、終了し、大きな経済効果が得られた。 丸山公園人工芝工事入札執行により施工業者が決定した。 委託業者が決定し、市比野温泉地域活性化委員会設立に向けて準備会が開催された。(8月11日)	サッカー大会およびよさこい祭りへの支援体制により、多くの参加者があり経済効果が得られた。 人工芝検討会の主催により、多数の市民参加による人工芝完成記念式典及び記念イベントが開催された。(3月22日)
市道等の維持修繕	補修箇所の早期発見・早期補修	コミ協と連携し情報の収集 道路パトロールの強化 職員等の情報提供の定着	各自治会、各課より穴ぼこや路肩補修箇所の情報提供があり随時対応した。 側溝浚渫箇所のパトロール強化を図った。	各自治会、各課より早期発見による情報提供があり、早期補修の対応ができた。 側溝浚渫箇所のパトロール強化により、計画的な浚渫作業ができた
社会体育の推進と自主運営の強化	地域体育協会専門部の強化 コミスポーツ会員の増	各専門部と連携し指導者の確保・ホッケー教室の開催	9月7日ホッケー祭り、レディースホッケー大会を開催。コミ協・樋脇高校・各団体の協力の下、有意義なスポーツ交流ができた。 コミスポについては、運営が逼迫する傾向にあり、会員及び会費の増を検討する。	ホッケー競技は、樋脇地域での伝統ある競技であるが、ホッケー競技運営を行政で引き継ぐには限界があり、ホッケー協会の組織強化を引き続き依頼する。 コミスポはスポーツ振興に欠かせないことから今後の運営を更に進める。

# 支 所 経 営 方 針

薩摩川内市

平成20年度

<p>奨学資金・給食費滞納の縮減</p>	<p>新規滞納の防止</p>	<p>戸別訪問徴収の実施，学校・PTAと連携し納入を啓発する</p>	<p>戸別訪問など実施し滞納の縮減に努めた。</p>	<p>学校との連携により学校呼び出し等により滞納減額に努めた。</p>
<p>年度中間総括</p>	<p>概ね全職員が健康で職務の遂行に精励し，市民の目線で支所の在り方を考え市民へ満足度の高いサービスの提供に努めているが，人事異動に伴う課体制の機能発揮ができない面が散見された。</p> <p>産業の振興について，農業振興面では振興施策の情報提供や営農集団等の経営安定対策等の助言指導の成果として，野菜生産大型ハウス施設（5,040㎡）の導入並びに着工に至った。農道等の保安全管理については，地域からの情報や随時見回り速やかな対応を実施している。</p> <p>観光振興面では，市比野温泉杯サッカー大会へ支所の支援体制及び職員の協力のもと円滑に盛会裏に終了でき地域活性化に相乗効果をもたらした。（少年77チーム，少女5チーム，中学生大会80チーム）</p> <p>市比野出張所のあり方検討については，意見集約には至らない状況であり継続して検討する。</p> <p>小学生を対象としたホッケー祭りに樋脇地域外（東郷）から初めて参加があり，今後，市全域への底辺拡大に一步前進した。</p> <p>レディースホッケーについては，チームの高齢化が進行し参加チームの確保に苦慮している。ホッケー協会と密接な連携が望まれる。</p>			
<p>年度末総括</p>	<p>市民の立場に沿った事務遂行し，市民への満足度の高いサービス提供に努めた。</p> <p>農業の振興について，農業振興面では振興施策の情報提供や営農集団等の経営安定対策等の助言指導の成果として，倉野地区に野菜生産大型ハウス（中期展張ハウス）約50aが完成した。また新規作物の導入ではエグ芋50aの栽培，いちごの病害対策においては健全苗の供給をおこなった。農地・水・保全対策においては5地区95haの農道，水路の維持補修を実施した。</p> <p>畜産においては，50頭規模牛舎及び38aの造成を行った。</p> <p>商工観光の振興について，サッカー大会及びよさこい祭りへ多数の参加による経済効果と，人工芝検討会主催による人工芝完成記念式典が多数の参加により盛大に開催された。</p> <p>市比野温泉杯サッカー大会へ支所の支援体制及び職員の協力のもと円滑に盛会裏に終了でき地域活性化に相乗効果をもたらした。（少年77チーム，少女5チーム，中学生大会80チーム，高校生大会26チームの大会実績）</p> <p>市道等の維持修繕について，早期発見による情報提供が成され早期補修の対応と側溝浚渫個所のパトロール強化により，計画的な浚渫作業を実施した。</p>			